



証券コード9433

# 株主の皆様へ

平成15年3月期 ―― 年次のご報告

**KDDI**

*Designing The Future*

SUROUGAN MO DAIJIDAKEREDO,  
JIKKOUSURUNOGA ICHIBAN DAIJI.



# Ubiquitous

## Solution Company

### Contents

ごあいさつ	2
連結決算の状況	3
連結財務諸表	
連結損益計算書(要旨)	4
連結貸借対照表(要旨)	5
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)	6
個別財務諸表	
損益計算書(要旨)／利益処分	7
貸借対照表(要旨)	8

事業概況	
au事業	9
ネットワーク & ソリューション事業	11
ツーカー事業・ポケット事業	13
研究所ニュース	14
トピックス	15
会社概況	16
株式データ	17
株主メモ	18



取締役会長  
五十嵐 三津雄

代表取締役社長  
小野寺 正

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととおよろび申し上げます。

平素は、当社事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第19期(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)の報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ご高承のとおり、当期におけるわが国の経済は、アメリカ経済の先行き不安などを背景に、失業率は高水準で推移し、個人消費も横ばいの状態が続くなど、依然として低迷を続けました。

電気通信業界におきましては、ブロードバンドサービス市場における競争の激化や、携帯電話市場の成熟化など、収益低下をもたらす状況が続いており、事業者を取り巻く環境は一層厳しいものとなりました。

このような状況のもと、KDDIグループでは「KDDI中期経営計画2002」に基づき、積極的な事業構造の改革を進め、企業価

値の最大化を図るべく「価値創造」「お客様重視」を起点とした活動に取り組んでまいりました。

au事業におきましては、昨年4月より開始した第3世代携帯電話「CDMA2000 1x」において、「フォトメール」「ムービーメール」を提供するとともに、昨年12月には「着うた™」を開始するなど、魅力的なサービスの拡充に努めてまいりました。また、経営資源の集中によるサービスの向上を図るため、PDC方式から、より高品質で利便性に優れたCDMA方式への移行を推進し、本年3月末をもってCDMA方式への一本化を実現いたしました。

ネットワーク&ソリューション事業におきましては、昨年11月に法人のお客様向けに、本年4月には個人のお客様向けにIP電話サービスの提供を開始するなど、急激な市場の変化への対応を積極的に行ってまいりました。また、昨年10月には「CDMA2000 1x」の通信ネットワークを、トヨタ自動車株式会社の情報ネットワークサービス「G-BOOK」に提供するなど、異業種との協業による新規市場の開拓を推進してまいりました。

さらに、情報システムや通信設備運用拠点の統合を進め、KDDIグループ全体で効率的な設備投資を行うことにより財務基盤の安定化に努めるとともに、社員の一層のスキルアップと新規分野への要員シフトを目的として、本年4月に「社員力強化本部」を設立するなど、今後の事業展開に向けた体制強化に積極的に取り組んでまいりました。

KDDIグループといたしましては、今後も「お客様重視」の徹底を基本とし、「いつでも、どこでも、どんな情報でも」ご利用いただけるサービスを提供する「ユビキタス・ソリューション・カンパニー」を目指し、鋭意努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

取締役会長 五十嵐 三津雄  
代表取締役社長 小野寺 正

# 連結決算の状況

項目	au事業	ネットワーク & ソリューション事業	ツーカー事業	ポケット事業	その他事業	連結決算合計
営業収益 (百万円)	1,626,273	601,873	318,069	197,578	196,656	2,785,343
営業利益 (百万円)	53,786	60,290	6,200	20,267	△ 1,002	140,652
設備投資額 (百万円)	167,300	40,800	16,200	11,700	5,800	246,200
減価償却費 (百万円)	175,967	105,397	59,978	39,582	10,880	388,968
フリー・キャッシュ・フロー (百万円)	96,571	116,927	52,136	43,015	21,031	305,334
累計契約数 (千契約)	14,049	市内 6,181 県内市外 7,629 県外 8,356 国際 8,899	3,783	2,975	—	—

- (注) 1. 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。  
 2. 上記の連結決算合計は、連結調整等の記載を省略しており、各事業の合計と一致いたしません。  
 3. ネットワーク&ソリューション事業の累計契約数はマイルイン契約数です。

## au事業

昨年4月よりサービスを開始した第3世代携帯電話「CDMA2000 1x」において、「フォトメール」「ムービーメール」や「着うた™」などの新たなサービス提供により、700万台のご契約数の目標をほぼ達成し、営業収益は増収となりました。なお、PDC方式のサービスの終了に伴う費用の計上により、営業利益は減少しましたが、その影響を除けば増益となります。

## ネットワーク&ソリューション事業

IP-VPNやADSLの販売促進などにより、データ系サービスの収入は微増となりました。一方、固定電話市場の縮小に伴い、音声系サービスの収入は減少し、営業収益は減少しましたが、マイルイン獲得競争が一段落するなど、コスト削減により、営業利益は大幅に増加しました。

## ツーカー事業

「シンプルさ」「使い勝手の良さ」を追求し、2年契約型の料金プランの定着化など、お客様に長期間ご利用いただき、解約率の改善を図る販売戦略の展開により、ご契約数は減少しましたが採算性は向上し、減収増益となりました。また、フリー・キャッシュ・フローについては、設備投資の抑制などにより大幅に増加しました。

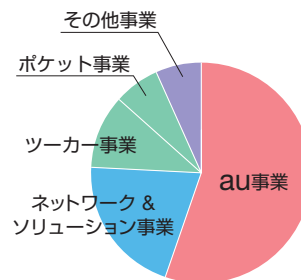
## ポケット事業

「AirH™」によるデータ特化戦略を前期から継続し、ご契約数は微増となりましたが、販売費用の削減・設備使用料の減少などにより、営業利益が大幅に増益となりました。これにより、フリー・キャッシュ・フローについても大幅に増加しました。

## 連結決算

これらの結果、当期の連結損益状況につきましては、営業収益は2,785,343百万円(前期比1.7%減)、営業利益は140,652百万円(前期比37.5%増)、経常利益は113,210百万円(前期比43.7%増)、当期純利益は57,358百万円(前期比341.9%増)となりました。

KDDIグループの営業収益における各事業の占める割合



# 連結財務諸表

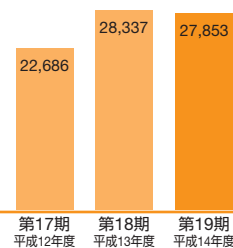
## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

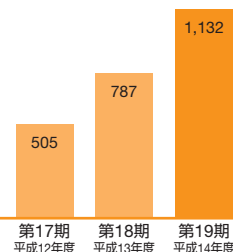
	前期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	当期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
<b>電気通信事業営業損益</b>		
営業収益	2,247,145	2,191,887
音声伝送収入	1,767,730	1,574,509
データ伝送収入	310,101	450,658
専用収入	87,979	93,941
電報・その他の収入	81,333	72,778
営業費用	2,154,020	2,089,919
営業利益	93,124	101,967
<b>附帯事業営業損益</b>		
営業収益	586,654	593,455
営業費用	577,480	554,770
営業利益	9,173	38,685
営業利益	102,297	140,652
営業外収益	31,463	18,928
営業外費用	55,005	46,370
経常利益	78,756	113,210
特別利益	144,774	20,669
特別損失	202,645	23,154
税金等調整前当期純利益	20,884	110,725
法人税等	66,037	14,831
法人税等調整額	△ 56,193	35,524
少数株主利益(△は損失)	△ 1,938	3,011
当期純利益	12,979	57,358

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

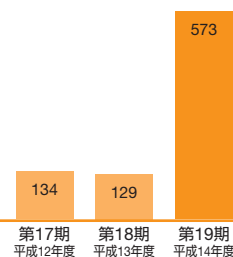
### 営業収益 (単位:億円)



### 経常利益 (単位:億円)



### 当期純利益 (単位:億円)



# 連結財務諸表

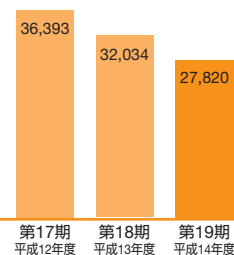
## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

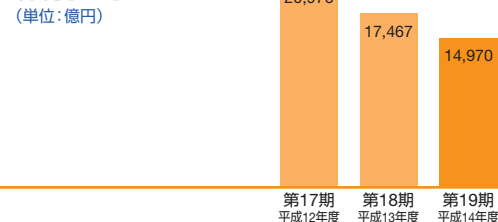
	前期末 (平成14年3月31日現在)	当期末 (平成15年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
固定資産	2,512,289	2,184,990
電気通信事業固定資産	2,184,726	1,926,659
有形固定資産	1,884,534	1,650,042
無形固定資産	300,192	276,616
附帯事業固定資産	72,108	42,662
有形固定資産	66,721	38,352
無形固定資産	5,387	4,309
投資その他の資産	255,453	215,668
流動資産	691,151	597,048
<b>資産合計</b>	<b>3,203,441</b>	<b>2,782,038</b>
<b>(負債の部)</b>		
固定負債	1,392,330	1,277,129
流動負債	943,424	595,985
<b>負債合計</b>	<b>2,335,754</b>	<b>1,873,115</b>
<b>(少数株主持分)</b>		
少数株主持分	10,606	14,212
<b>(資本の部)</b>		
資本金	141,851	141,851
資本剰余金	304,189	304,189
利益剰余金	407,043	456,827
その他有価証券評価差額金	2,895	1,454
為替換算調整勘定	1,139	△ 3
自己株式	△ 40	△ 9,608
<b>資本合計</b>	<b>857,080</b>	<b>894,710</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>3,203,441</b>	<b>2,782,038</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>26.8%</b>	<b>32.2%</b>

(注) 1. 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。  
2. 連結財務諸表規則の改正に伴い、前期の資本準備金は資本剰余金に、連結剰余金は利益剰余金に組替えて表示しております。

## 総資産 (単位: 億円)



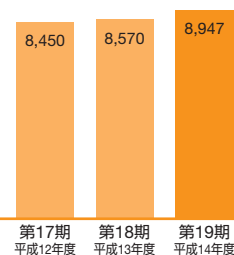
## 有利子負債 (単位: 億円)



「有利子負債」は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債であります。

(注) 社債、長期借入金、1年以内に期限到来の固定負債、短期借入金等

## 自己資本 (単位: 億円)



## 自己株式の取得

第18期定時株主総会において決議されたストックオプション制度のため取得した自己株式数は24,000株であります。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

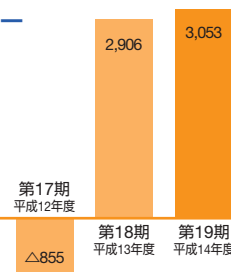
(単位:百万円)

	前期 (平成13年4月 1日から 平成14年3月31日まで)	当期 (平成14年4月 1日から 平成15年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	460,532	526,887
投資活動によるキャッシュ・フロー	△169,932	△221,552
フリー・キャッシュ・フロー	290,600	305,334
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357,912	△251,363
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1,159	△712
現金及び現金同等物の増加額 (△は減少額)	△ 66,152	53,258
現金及び現金同等物の 期首残高	134,669	68,595
合併及び新規連結子会社の 現金及び現金同等物の増加額	133	—
連結範囲変更に伴う 現金及び現金同等物の減少額	△ 54	—
現金及び現金同等物の期末残高	68,595	121,854

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## フリー・キャッシュ・フロー

(単位:億円)



※フリー・キャッシュ・フロー  
= 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

### ●連結キャッシュ・フロー概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ66,354百万円増加しましたが、投資活動によるキャッシュ・フローも51,620百万円支出が増加し、フリー・キャッシュ・フローは305,334百万円となりました。これを原資に有利子負債の返済を行った結果、当期末における現金及び現金同等物の期末残高は、121,854百万円(前期比53,258百万円増)となりました。

### ●営業活動によるキャッシュ・フロー

当期は法人税等の支払いが増加したものの、税金等調整前当期純利益が前期に比べ大幅に増加したことにより、当期の営業活動によるキャッシュ・フローは526,887百万円(前期比66,354百万円増)となりました。

### ●投資活動によるキャッシュ・フロー

当期は子会社株式の売却や電気通信設備等の設備投資を効率的に行いましたが、前期が不動産証券化による固定資産等の売却収入が大きかったこともあり、投資活動によるキャッシュ・フローは221,552百万円の支出(前期比51,620百万円増)となりました。なお、前期及び当期における主な設備投資は、昨年4月にサービスを開始した第3世代携帯電話「CDMA2000 1x」の新設・増設等であります。

### ●財務活動によるキャッシュ・フロー

当期のフリー・キャッシュ・フローから有利子負債の返済を行いました。これにより、当期の財務活動によるキャッシュ・フローは251,363百万円の支出(前期比106,549百万円減)となりました。



# 個別財務諸表

## 損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

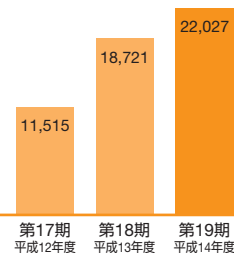
	前期 (平成13年4月 1日から 平成14年3月31日まで)	当期 (平成14年4月 1日から 平成15年3月31日まで)
<b>電気通信事業営業損益</b>		
営業収益	1,402,651	1,724,651
営業費用	1,365,791	1,657,851
営業利益	36,859	66,800
<b>附帯事業営業損益</b>		
営業収益	469,457	478,110
営業費用	447,551	437,751
営業利益	21,906	40,358
<b>営業利益</b>	<b>58,766</b>	<b>107,158</b>
営業外収益	26,203	18,378
営業外費用	33,246	30,106
<b>経常利益</b>	<b>51,723</b>	<b>95,430</b>
特別利益	144,774	16,201
特別損失	229,012	22,147
<b>税引前当期純利益(損失)</b>	<b>△ 32,514</b>	<b>89,484</b>
法人税等	50,495	10,017
法人税等調整額	△ 64,694	29,071
<b>当期純利益(損失)</b>	<b>△ 18,315</b>	<b>50,396</b>
前期繰越利益	9,053	7,713
自己株式処分差損	—	0
合併引継未処分利益	23,134	—
合併子会社株式消去差額	1,024	—
中間配当額	3,795	3,773
当期末処分利益	9,052	54,335

## 利益処分

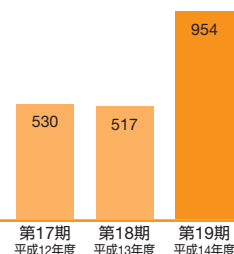
(単位:百万円)

	前期 (平成13年4月 1日から 平成14年3月31日まで)	当期 (平成14年4月 1日から 平成15年3月31日まで)
<b>当期末処分利益</b>	<b>9,052</b>	<b>54,335</b>
特別償却準備金取崩額	323	458
別途積立金取崩額	3,000	—
合計	12,375	54,793
これを次のとおり処分いたしました。		
配当金	3,795 (1株につき895円)	5,058 (1株につき1,200円)
役員賞与金 (うち監査役分)	— (—)	66 (11)
特別償却準備金	866	761
別途積立金	—	38,700
<b>次期繰越利益</b>	<b>7,713</b>	<b>10,207</b>

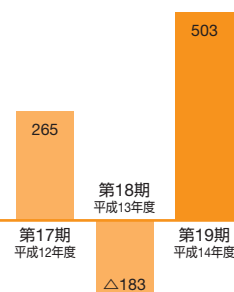
## 営業収益 (単位:億円)



## 経常利益 (単位:億円)



## 当期純利益 (単位:億円)



## 配当金

当期の利益配当金につきましては、3社合併後2年半が経過し、諸制度・システム等の統合を図り、事業の基盤を固めたことに伴い、1株につき305円増配し、1,200円とさせていただきます。

(注)平成14年12月6日に3,773百万円(1株につき895円)の中間配当を実施いたしました。

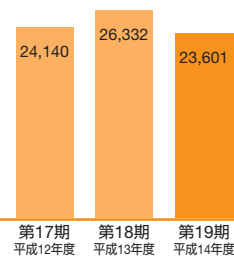


## 貸借対照表(要旨)

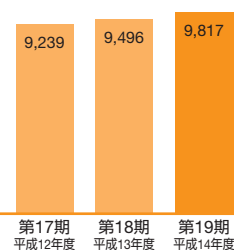
(単位:百万円)

	前期末 (平成14年3月31日現在)	当期末 (平成15年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
固定資産	2,040,951	1,812,621
電気通信事業固定資産	1,616,799	1,435,255
有形固定資産	1,457,550	1,282,703
無形固定資産	159,249	152,551
附帯事業固定資産	3,062	4,664
有形固定資産	2,363	4,019
無形固定資産	699	645
投資その他の資産	421,089	372,701
流動資産	592,343	547,571
<b>資産合計</b>	<b>2,633,295</b>	<b>2,360,192</b>
<b>(負債の部)</b>		
固定負債	972,791	967,222
流動負債	710,898	411,237
<b>負債合計</b>	<b>1,683,690</b>	<b>1,378,460</b>
<b>(資本の部)</b>		
資本金	141,851	141,851
資本剰余金	304,189	304,189
利益剰余金	501,105	543,932
利益準備金	11,752	11,752
任意積立金	480,301	477,844
当期末処分利益	9,052	54,335
その他有価証券評価差額金	2,497	1,366
自己株式	△ 40	△ 9,608
<b>資本合計</b>	<b>949,605</b>	<b>981,732</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>2,633,295</b>	<b>2,360,192</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>36.1%</b>	<b>41.6%</b>

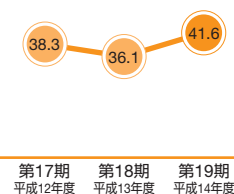
## 総資産 (単位:億円)



## 自己資本 (単位:億円)



## 自己資本比率 (単位:%)



- (注) 1. 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。  
 2. 財務諸表等規則の改正に伴い、前期の資本準備金は資本剰余金に、利益準備金及びその他の剰余金は利益剰余金に組替えて表示しております。

## au事業

### 「CDMA2000 1x」の開始

昨年4月よりサービスを開始した第3世代携帯電話「CDMA2000 1x」のご契約数が、本年5月で800万台を突破いたしました。

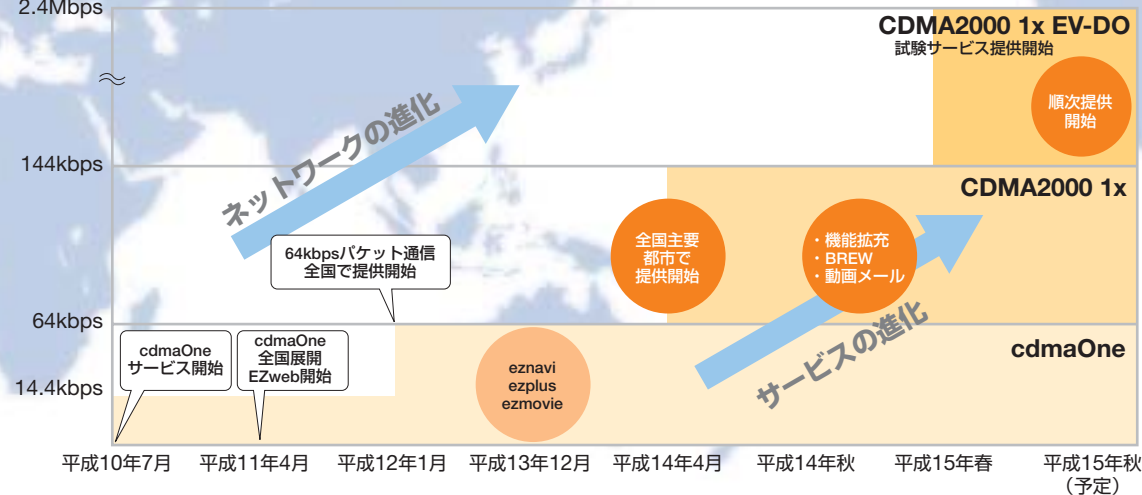
「CDMA2000 1x」は、従来の「cdmaOne」端末とほぼ同レベルの価格や大きさ、重量、待受時間のまま、最大144kbpsの高速データ通信を全国でご利用いただくことが可能な第3世代携帯電話としてご好評をいただいております。昨年9月に開始した「ムービーメール」は、「CDMA2000 1x」の代表的なサービスのひとつであり、最大15秒のなめらかな動画を“撮って・見て・送れる”だけでなく、撮影した動画にアフレコ機能で音声を録音したり、テロップ機能で好きなコメントを加えること

で、より豊かなコミュニケーションが実現されます。また、今秋からは、現在の通信速度の約17倍にあたる、最大2.4Mbpsの高速データ通信が可能となるデータ専用の通信システム「CDMA2000 1x EV-DO」を開始し、今まで以上に快適なモバイル環境を提供してまいります。

一方、平成6年4月から提供してまいりましたPDC方式の携帯電話サービスを、本年3月末日をもって終了いたしました。今後は、より優れた通話品質を備え、高速データ通信が可能なCDMA方式へ経営資源を集中し、効率的な事業展開を進めるとともに、サービスの一層の充実を目指してまいります。

### モバイルサービス展開

データ通信速度(最大)  
2.4Mbps



## 着うた™

現在、着信メロディはインターネット接続サービス「EZweb」上で人気の高いコンテンツのひとつですが、和音によるメロディの着信音に加え、昨年12月、当社がコンテンツ提供会社と共同で、業界初のサービス「着うた™」を開始いたしました。

「着うた™」は、最新のヒット曲(15~30秒)を「EZweb」上の対応サイトからダウンロードし、歌手の歌声をそのまま着信音やアラーム音として利用したり、再生して楽しむことができます。今後も、新曲のCD発売日または発売直後に更新を行い、提供楽曲を増やすとともに、対応機種種のラインアップを充実させてまいります。

通商産業省



「メロディ」じゃない。  
歌手自身が歌っているオリジナル  
サウンドを、そのまま着信音に



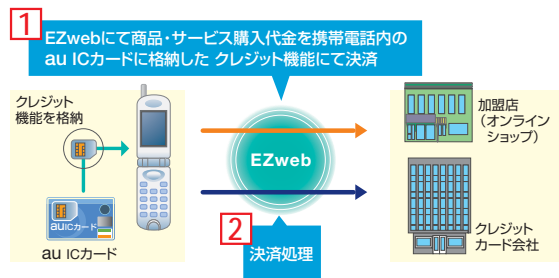
## Kei-Credit (ケイクレジット)トライアル

本年3月より、携帯電話を財布代わりにして、インターネット上で本やCDなどを購入したり、百貨店などの店舗で赤外線通信を利用して商品を購入することができる、クレジット決済サービス「Kei-Credit」の実用化に向けたトライアル(実験)を開始いたしました。

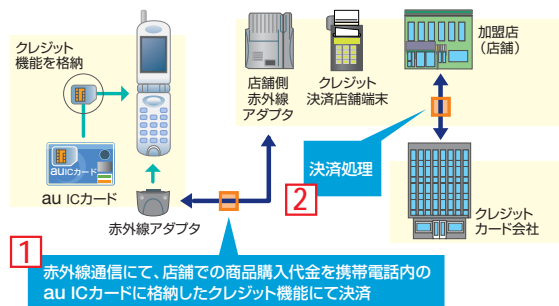
このトライアルには、当社とクレジットカード会社4社が参加しており、第3世代携帯電話「CDMA2000 1x」に装着する多目的ICカードに格納したクレジット機能で購入代金の決済を行います。

当社では今後も、定期券やカギなどのさまざまな機能を、携帯電話を通じて実現できる「ユビキタス・ソリューション」への取り組みを推進してまいります。

### EZwebを利用したオンラインショッピング



### 店舗での赤外線通信を利用したクレジット決済





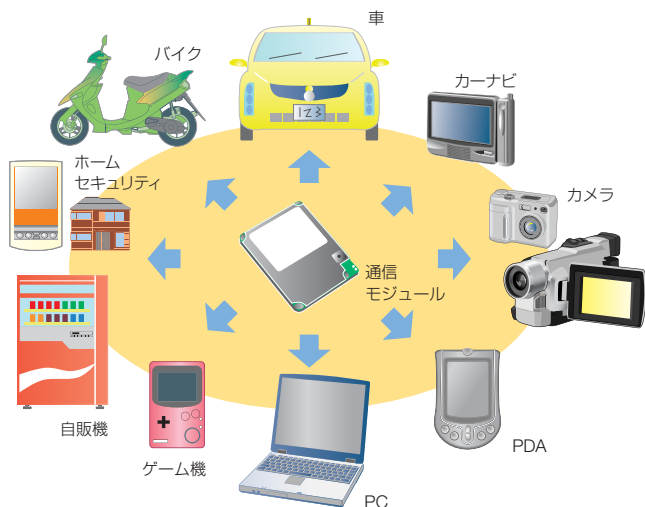
## 通信モジュールビジネス

トヨタ自動車株式会社の情報ネットワークサービス「G-BOOK」や、パイオニア株式会社の通信カーナビゲーション「Air Navi（エアナビ）」には、当社の第3世代携帯電話「CDMA2000 1x」を用いた通信モジュールが内蔵されております。

「G-BOOK」や「Air Navi」をご利用のお客様は、この通信モジュールによって、渋滞情報や周辺のレストランなどの娯楽情報、最新のカーナビゲーションをご利用いただける他、メールの送受信も可能となり、より便利に、より快適にカーライフを楽しんでいただくことができます。

今後も、自動車や家電製品などに通信機能を組み込んだ「モジュール型サービス」の展開により、新たなソリューション市場の開拓を推進してまいります。

### 通信モジュール展開のイメージ



## BREW™ (ブリュー)ソリューション

本年2月より携帯電話向けアプリケーション（応用ソフトウェア）プラットフォームである「BREW™」を搭載した第3世代携帯電話「CDMA2000 1x」端末の販売を開始いたしました。

「BREW™」の大きな特長として、アプリケーションの処理速度が高速であることや、プログラムの作りやすさなどがあり、すでに当社が提供しております「GPS機能」などと組み合わせることにより、設備監視やルートセールス、運行・集配管理といった、法人のお客様それぞれの業務システムに合わせたアプリケーションの開発が可能となります。

今後ますます多様化するお客様それぞれのご利用ニーズにお応えするため、「BREW™」を活用した「モバイル・ソリューション」を提供してまいります。

### BREW™ソリューションのイメージ



## ツーカー事業・ポケット事業

### ツーカー事業

ツーカー3社では、「シンプルさ」「使い勝手の良さ」を追求したサービスを提案し、お客様に長期間ご利用いただくことに重点をおいた販売戦略を展開いたしました。

昨年11月に、カメラ機能をあえて搭載しない、折りたたみ型としては最薄となる厚さ15mmのシンプルケータイ第一弾「TK22」を発売いたしました。「TK22」では、ポケットに入れても気にならないスマートなデザインや、大きくて見やすい文字表示、使いたい機能がひと目でわかるメニュー画面の採用など、お客様の「使い勝手の良さ」を重視しております。

今後も、音声通話やメールサービスをより使いやすく、より低廉な料金で提供することにより、複雑な機能を必要とされないお客様にとって、ベストな事業者を目指してまいります。



### ポケット事業

DDIポケットでは、引き続き、定額制データ通信サービスを中心に展開してまいりました。加えて、本年4月から、音声通話機能とデータ通信機能を合わせ持つ新たな通信端末として、「AirH"PHONE (エアーエッジフォン)」の販売を開始いたしました。

H" (エッジ)の特長である高音質な音声通話はもちろん、本体の液晶画面でEメールやホームページの閲覧が可能となります。また、「AirH"PHONE」とパソコンをUSBケーブルで接続することにより、定額制のデータ通信サービス「つなぎ放題コース」をご利用いただけますので、接続時間を気にせずインターネットを楽しむことができます。

今後も、データ通信サービスを中心とした事業展開を行い、モバイル環境下でインターネットをご利用になるお客様のさらなる利便性の向上を図ってまいります。



**AirH"  
PHONE**



## 定点カメラ映像送信システム「ezmonitor (イージーモニター)」の開発について

KDDI研究所は、「ムービーケータイ」に送られてくる映像ファイルで、外出先からでも留守宅の様子などが確認できる「ezmonitor」を開発しました。

ezmonitorは、“留守中の子供の様子が気になる” “ペットが元気にしているか心配”という方のニーズに応える定点カメラを使った映像送信システムで、24時間365日、外出先でも簡単に自宅の様子を見ることができるサービスです。

このシステムは、自宅のパソコンに簡易デジタル動画カメラを取り付け、KDDI研究所が開発したezmonitorソフトウェアをパソコンに取り入れるだけでご利用いただけます。

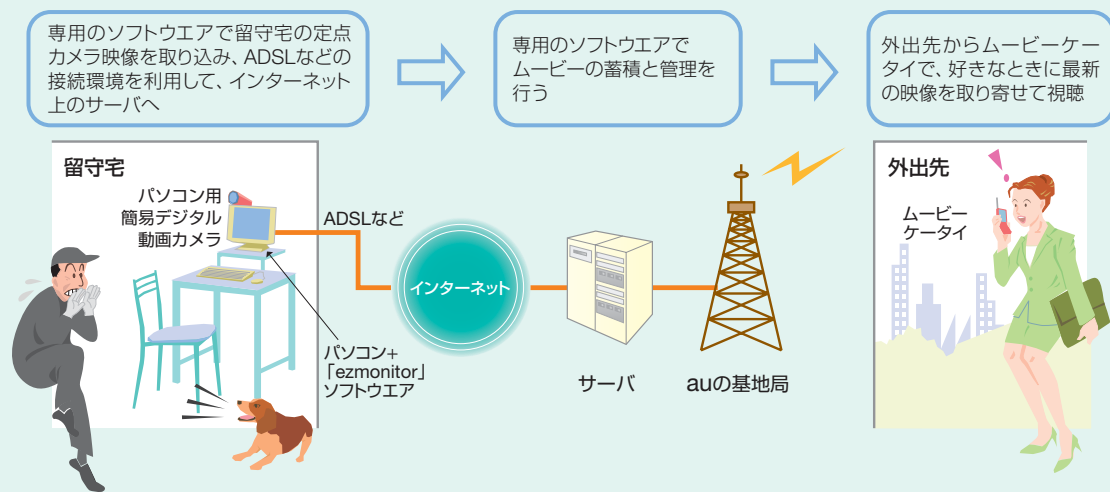
ezmonitorを動作させると、留守宅の映像が逐次パソコンに取り込まれ、ムービーケータイで視聴できるよう

処理されたのち、サーバに送信されるため、常に最新の映像が蓄積されます。また、自宅の様子に変化があった場合に限り、その映像をサーバに送信して残しておくことも可能です。

映像の視聴のためには、ムービーケータイからサーバに接続し、最新の映像、もしくは自宅の様子に変化があった場合の映像などをリストの中から選択して、1回につき15秒程度の映像を取り込みます。

ezmonitorは、KDDI研究所がパソコン用の映像取り込みソフトウェアと、サーバ用の映像管理/登録処理ソフトウェアの基本機能を開発しており、現在複数の特許を申請しているとともに、今後は、本システムを多方面に応用したサービス展開を図ってまいります。

### ezmonitorの利用イメージ





## 東京地区事業所統合について ～ユビキタス・ソリューションのモデルビルとして～

社内の意思決定の迅速化や、より効率的で機動的な経営を行うために、全国にある事業所の統合を地区ごとに進めてまいりましたが、その総仕上げとして、東京地区に分散していた事業所を本年5月「ガーデン エア タワー」(東京都千代田区)に統合いたしました。

この「ガーデン エア タワー」は、「ユビキタス・ソリューション・カンパニー」を目指す当社が提供するソリューション・サービスの“モデルビル”として、法人のお客様の視点に立ってソリューション・サービスを開発するとともに、実際に利用し、ビジネス・ソリューションとして提案できる環境を整えております。

例えば、地方拠点を含めた全社員に第3世代携帯電話「CDMA2000 1x」を配備するほか、同ビル内に1,000台のIP電話を設置するなど、モバイルやブロードバンド環境に適合した新しいITインフラを構築しております。また、携帯電話インターネットと社内イントラネットを連携させた営業支援システムの構築を進め、将来的には外出先や自宅においても必要な情報を共有できる環境を整えてまいります。

今後は、KDDI新宿ビルにグループ会社などを順次集約し、グループ全体で経営基盤を強化するとともに、「ガーデン エア タワー」を新たなソリューション・サービスの発信の場としてまいります。



ショールーム



外観

# 会社概況 (平成15年3月31日現在)

商 号 KDDI 株式会社  
(英文名称:KDDI CORPORATION)

本店所在地 東京都新宿区西新宿二丁目3番2号

創 業 昭和59年6月1日

事業内容 第一種電気通信事業

資本金 141,851,778,300円

## 最高顧問

(平成15年6月24日現在)

最高顧問	稲盛 和夫
最高顧問	豊田 章一郎

## 取締役及び監査役

(平成15年6月24日現在)

取締役会長	五十嵐三津雄
代表取締役社長	小野寺 正
代表取締役(執行役員 副社長)	山本 正博
取締役(執行役員 専務)	中野 伸彦
取締役(執行役員 専務)	伊藤 崇彦
取締役(執行役員 専務)	長尾 哲
取締役(執行役員 常務)	沓津 信夫
取締役(執行役員 常務)	両角 寛文
取締役	牛尾 治朗
取締役	西口 泰夫
取締役	奥田 碩
常勤監査役	日沖 昭
常勤監査役	照井 利明
常勤監査役	安藤 理
監査役	森 篤

## 執行役員 (取締役兼務執行役員は除く)

(平成15年6月24日現在)

執行役員 専務	起橋 俊男
執行役員 常務	高橋 優
執行役員 常務	橘 薫
執行役員 常務	塚田 一幸
執行役員	村上 仁己
執行役員	金子 知好
執行役員	津田 裕士
執行役員	北川 洋
執行役員	石川 雄三
執行役員	榊原 盛吉
執行役員	浜田 聖治
執行役員	藤野 利行
執行役員	大山 俊介
執行役員	藤本 勇治
執行役員	安田 豊
執行役員	嶋谷 吉治
執行役員	冲中 秀夫
執行役員	繁野 高仁
執行役員	湯浅 英雄
執行役員	川井 徹
執行役員	田中 孝司
執行役員	高橋 誠
執行役員	奈良谷 弘

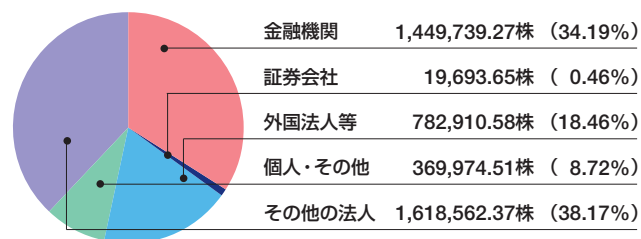
# 株式データ (平成15年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	7,000,000株
発行済株式総数	4,240,880.38株
株主総数	141,237名

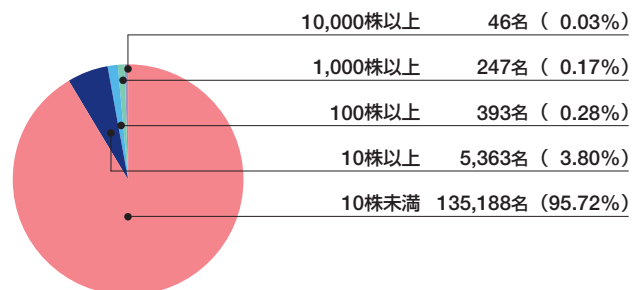
## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
京セラ株式会社	572,675.87株	13.62%
トヨタ自動車株式会社	497,425.23株	11.83%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	265,508.00株	6.31%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	241,864.00株	5.75%
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	116,264.00株	2.76%
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	104,233.00株	2.47%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	102,362.00株	2.43%
郵政共済組合	76,641.45株	1.82%
ジェーピーモルガンチェースオープンハイマーファンズジャスデックアカウント	64,184.00株	1.52%
東京電力株式会社	56,340.55株	1.33%

## 所有者別分布状況



## 所有株数別分布状況



**決 算 期** 毎年3月31日

**定時株主総会** 毎年6月

**利 益 配 当 金** 決算期現在の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載又は記録された株主及び端株原簿に記載又は記録された端株主にお支払いいたします。

**中 間 配 当 金** 取締役会の決議により中間配当を実施する場合、毎年9月30日現在の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載又は記録された株主及び端株原簿に記載又は記録された端株主にお支払いいたします。

**公 告 掲 載 紙** 東京都において発行する日本経済新聞  
なお、貸借対照表および損益計算書を、決算公告に代えて、ホームページに掲載しております。  
当社のホームページアドレスは次のとおりです。  
<http://www.kddi.com/ir/financial/koukoku/index.html>

**名義書換代理人** 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号  
UFJ信託銀行株式会社

**同 事 務 取 扱 所** 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL. (03) 5683-5111  
名義書換・配当金などに関するお問い合わせは上記の電話番号までお願いいたします。

**同 事 務 取 次 所** UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記のUFJ信託銀行の電話番号及びインターネットでも承っております。  
TEL. (0120)24-4479 (通信料無料)  
<http://www.ufjtrustbank.co.jp>

\* 配当金はお届けいたしました**郵便振替支払通知書**を、**平成15年7月31日まで**にお近くの郵便局にご持参の上お受け取り下さい。なお、平成15年8月1日以降は郵便振替支払通知書の表面の「受領者印章」の欄にお届出印をご押印いただき、裏面に受取方法をご記入の上、上記の名義書換代理人事務取扱所までご送付下さい。また、銀行もしくは郵便貯金口座への振込をご指定の方は、同封の**利益配当金計算書**及び**配当金振込先のご確認**についてにより、内容をご確認下さいますようお願いいたします。

## お知らせ

平成15年6月24日に開催されました第19期定時株主総会において定款変更議案をご承認いただきましたので、端株の買増しの取扱いが可能となりました。1株に満たない端株を所有されている株主様で、買増しをご希望される株主様は、下記のUFJ信託銀行 証券代行部までお申し出下さい。

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL.(03)5683-5111



【お問い合わせ】

〒102-8460

東京都千代田区飯田橋3-10-10 ガーデン エア タワー

KDDI株式会社

総務部 総務企画グループ

TEL.(03)6678-0982

<http://www.kddi.com>



古紙配合率100%再生紙を使用しています



この冊子はアメリカ大豆協会認定の大豆インクを使用しています。